



公益財団法人 日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

Web開催!

日本医療機能評価機構のQM

医療クオリティ マネジャー

養成セミナーのご案内

～医療の質評価・継続的な質改善活動の推進役を目指して～

継続的な
質改善活動を支援する

医療の質向上を図る

Certification
QM
Medical
Quality Manager

質改善活動の
中核となる人材を育成する

医療クオリティ マネジャー

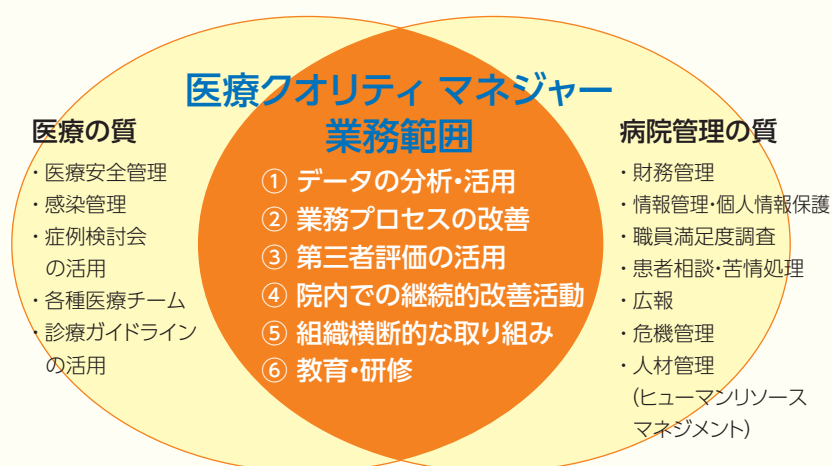


日本医療機能評価機構では、病院が組織として良質な医療を自律的かつ継続的に提供するための支援として、院内における質改善活動の中心的な役割を担う“医療クオリティ マネジャー”の養成セミナーを2012年度より開催しています。

QM 医療クオリティ マネジャーとは

医療クオリティ マネジャーは、**院内の質評価・質改善活動の推進役**です。

病院の質について常に問題意識を持ち、多角的な視点から現況をモニタリング・評価・分析し、質の向上に向けて病院職員を巻き込みながら組織横断的に改善活動を推進します。また、病院機能評価や学会など、質に関する取り組みに積極的に参加し、情報を収集するとともに様々な知識・スキルを習得し、病院の質向上への原動力となり活躍します。



QM 医療クオリティ マネジャーがもつ3つの知識・スキル

① 医療の質を評価・分析・判断できる幅広い知識

医療の質を総合的に評価・分析するための幅広い知識、多角的な視点を持っている。

② 病院の課題発見・分析スキル

社会調査や医療統計などに基づくデータ分析手法や、業務プロセスを可視化する手法などを用いて客観的に自院の課題を発見・分析できる。

③ 質改善活動を推進するマネジメントスキル

組織横断的な質改善活動を効果的かつ効率的に推進することができる。

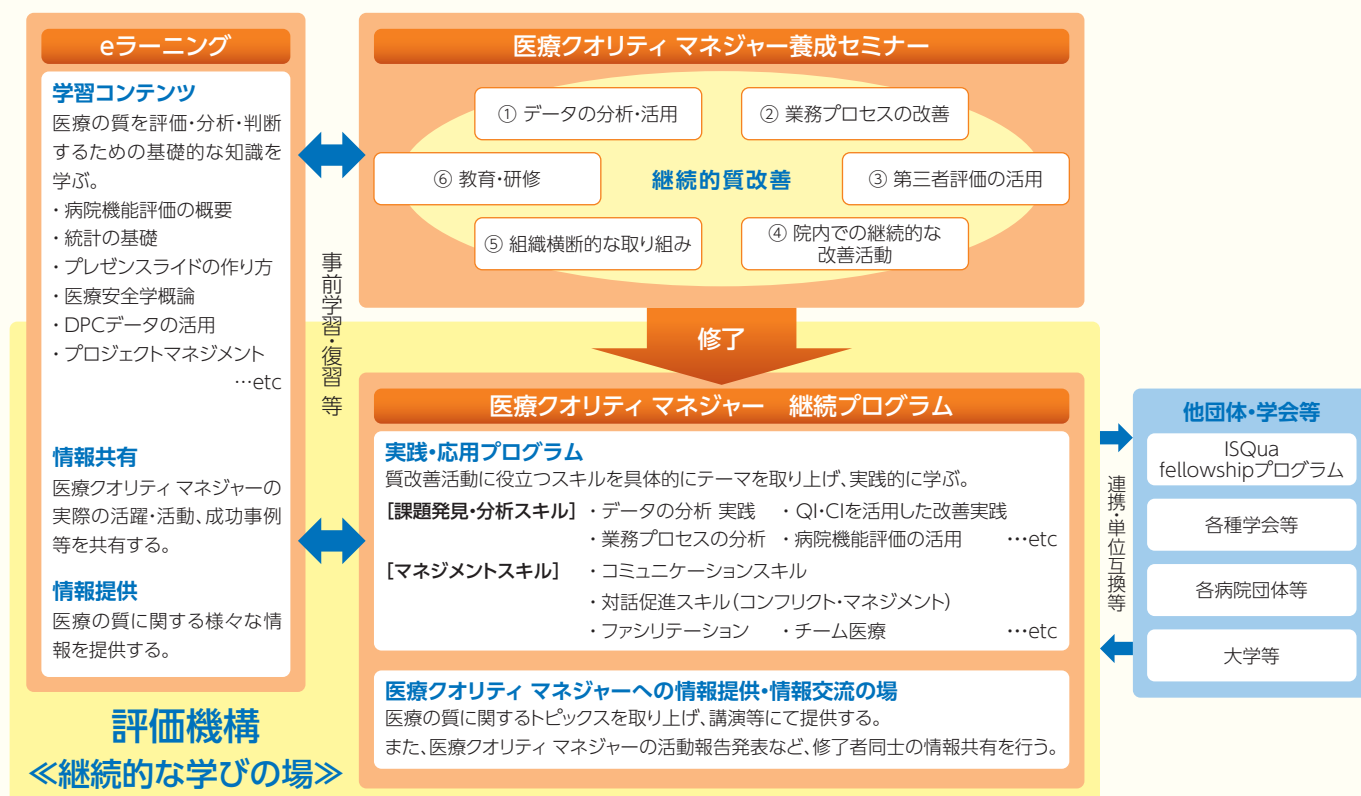
参考

病院機能評価の評価項目「1.5.3 業務の質改善に継続的に取り組んでいる」の中にも、「医療の質評価・分析に関する専門的な教育を受けた担当者（医療クオリティ マネジャー）を中心とした質改善の取り組みが求められる。」と記載されています。

QM 医療クオリティ マネジャーの役割



QM 医療クオリティ マネジャー養成の仕組み



QM 医療クオリティ マネジャー養成セミナー概要

本セミナーは、病院に勤務されている方々を対象に、病院の質改善に必要な知識・スキルを習得し、病院内で実践していただくことを目的にしています。「時間や場所を選ばず学べる」というWeb開催の利便性を最大限活かした二部構成です。前期のプログラムでは、幅広い分野の講師陣から質改善の基礎となる知識・スキルを中心にした講義の動画を視聴し、その後のWebセミナーで講師との質疑応答や気づきの共有により学びを深めていきます。後期のプログラムでは、質改善の実践力を高めることを目的に、Webでのグループワークを通して多職種で協働する体験をしていただきます。受講者相互間の活発な情報交換と議論を通してセミナー修了後は、院内の質改善の推進役となって活躍していただくことを期待しています。

セミナーのねらい

- 1 医療の質を評価し、改善するために必要な知識・視点・分析スキルを身につける。
- 2 質改善活動を推進するためのリーダーシップやファシリテーションスキルを身につける。
- 3 効果的かつ効率的に質改善活動を進めるための立案力やマネジメントスキルを身につける。
- 4 医療クオリティ マネジャーの役割を理解し、院内での質改善活動の実践イメージを明確にする。

- 開催 年3回(前期・後期)
※前期・後期セットでの申し込みとなります。
- 対象者 病院における医療の質管理の実務責任者、
またはそれに準ずる方(それを目指す方)
※職種・職位は問いません。
- 形式 ・講義動画[オンデマンド]
・Webセミナー[Zoomミーティング(グループワーク含)]
- 定員 各回 60名
- 参加費 ・病院機能評価認定病院、
又は受審申請済み病院にご所属の方 …132,000円(税込)
・上記以外の医療機関にご所属の方 ……198,000円(税込)



(セミナー修了者に)
修了証を発行



セミナープログラム

	講義項目	講師	目的・ねらい等	オンデマンド	Web セミナー (Zoom ミーティング)
前期	Web 受講にあたってのガイダンス	(事務局)	講義動画の視聴方法や Zoom の操作等に関する事務局からのご案内です。	有 ^{*1}	—
	医療の質改善と QM の役割	橋本	医療の質とは何か、良質な医療とは何か、“質改善”の考え方を学ぶ。	有 ^{*1}	質疑応答 ^{*2}
	医療の質と評価	梅里	医療の質の概念や評価に関する知識、評価のためのアプローチ方法を学ぶ。	有 ^{*1}	質疑応答 ^{*2}
	病院機能評価 クオリティ マネジャーとしてのポイント	梅里	病院機能評価受審の際に医療クオリティ マネジャーとして押えておくべき視点を学び、病院機能評価が質改善活動において有効なツールであることを理解する。	有 ^{*1}	質疑応答 ^{*2}
	患者満足度・職員満足度	加藤	患者満足や職員満足の視点から、「サービスプロフィットチェーン」の考え方をもち、医療の質について考える。	有 ^{*1}	質疑応答 ^{*2}
	医療の質指標の意義と活用法	猪飼	医療の質指標に関する基礎知識、指標の意義・目的を理解し、質指標 (QI・CI) の質改善への活用方法を学ぶ。	有 ^{*1}	質疑応答 ^{*2}
	分析スキル を学ぶ	水流	医療の質指標に関する基礎知識、指標の意義・目的を理解し、質指標 (QI・CI) の質改善への活用方法を学ぶ。	—	講義・実習
	データ収集・分析・フィードバック	小林	院内のデータを目的に沿って収集・分析し、自院の課題を明らかにし、質改善に繋げるためのデータ分析スキルを学ぶ。	有 ^{*1}	質疑応答 ^{*2}
	プロジェクトマネジメント	能登原	質改善活動を円滑に進めるためのマネジメントスキルを学ぶ。	有 ^{*1}	質疑応答 ^{*2}
	リーダーシップ・ファシリテーション	猶本	質改善活動をマネジメントするために必要なリーダーシップ・ファシリテーションスキルを学ぶ。	有 ^{*1}	質疑応答 ^{*2} ・GW
後期	マネジメントスキル を学ぶ	荒神	コンフリクト・マネジメントの考え方から、質改善活動を円滑に進めるための人間関係調整に必要な知識・スキルを学ぶ。	有 ^{*1}	質疑応答 ^{*2}

【課題】 自院のデータを用いた解決策の立案など

前期で学んだ、質の評価方法やデータ分析スキル等を活用し、自院の現状把握・課題抽出を行い、質改善活動の実施計画を立案する。

後期	実践的な活動イメージを掴む	データを活用した質改善活動	荒井	院内のデータ (QI・CI 等) から自院の課題を読み取り、質改善に繋げるための実践的なイメージを掴む。	—	講義・GW
		病院機能評価に向けた 医療クオリティ マネジャーの役割	吉田 梅里	病院機能評価の受審に向けて、医療クオリティ マネジャーとして、どのような役割で受審準備を進め、働きかけるのか、その活動イメージを掴む。	—	講義・GW
		継続的な質改善活動の仕組みづくり	上條	病院機能評価受審 (認定) 後も、継続的に質改善活動を行うための仕組み構築に向けて、どのように推進していくのか、継続的質改善活動の仕組みづくりを考える。	—	講義・GW
		グループ学習	吉田 梅里	質改善実施計画 (課題) をグループ内で発表・共有し、「改善点」について、意見交換を行う。	—	講義・GW
		グループ学習のまとめ発表および ディスカッション	荒井	グループ学習の成果 (まとめ) をグループごとに発表し、発表内容について会場全体でディスカッションする。	—	講義・GW

※ 1 講義動画のオンデマンド配信

※ 2 講義動画に関するもの

セミナー講師一覧 (五十音順・敬称略)

荒井 康夫	学校法人北里研究所北里大学病院 医療支援部 診療情報管理室 特別専門職
猪飼 宏	京都府立医科大学 医学・医療情報管理学講座 教授
梅里 良正	独立行政法人労働者健康安全機構 顧問
加藤 良平	株式会社ケアレビュー 代表取締役
上條 由美	昭和大学江東豊洲病院 副院長
荒神 裕之	山梨大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部 特任教授
小林 美亜	静岡大学創造科学技術大学院 特任教授
水流 聡子	東京大学大学院工学系研究科 品質・医療社会システム工学寄付講座 特任教授
猶本 良夫	川崎医科大学総合医療センター 病院長 / 川崎医科大学 特任教授
能登原 伸二	株式会社アイ・ティ・イノベーション 取締役 専務執行役員
橋本 迪生	公益財団法人日本医療機能評価機構 常務理事
吉田 和幸	医療法人財団鳥の木会 理事

(2021年2月時点の所属)

<※プログラム・講師は変更する場合があります。>

QM 修了者の声

セミナープログラムに関する声

医師

最初、病院から勧められた時はイメージがハッキリしませんでした。が、セミナーを終えてQMの重要性が認識できました。病院の将来を左右しかねない役割があるように感じました。

看護師

医療の質改善とは何かという本質を考える講義は深い学びとなりました。自院の質を俯瞰的に評価・分析するための知識・視点・スキルが身につきました。

事務職員

多職種のグループワークを通して、事務職の立場で組織横断的な質改善にどのように関与していけばよいのか具体的にイメージできるようになりました。

薬剤師

医療の質改善というテーマに焦点を当てたマネジメントやデータ分析のスキルを集中的に学べるのはこのセミナーだけだと思います。

複数ご参加いただいた病院様からの声

医師

病院を全体的に見ることのできる仲間がいるのは、心強いと実感しています。活動を広めるためには1人では難しい面もありますが、仲間ができたことで苦手の部門にも臆せず関われるようになりました。

看護師

同じ研修を受けた仲間がいるので、取り組みの目的を共有でき、院内での質改善活動がスムーズに行えるようになりました。他の職種と話す機会が増え、普段の業務も行いやすくなりました。

Web受講に関する声

看護師

Zoomの操作等のガイダンスが事前にあったので、スムーズに受講することができました。

医師

講義動画を好きな時間に繰り返し視聴できるので、理解が深まりました。

事務職

遠方の同じ目標を持った方との意見交換が非常に有意義でした。

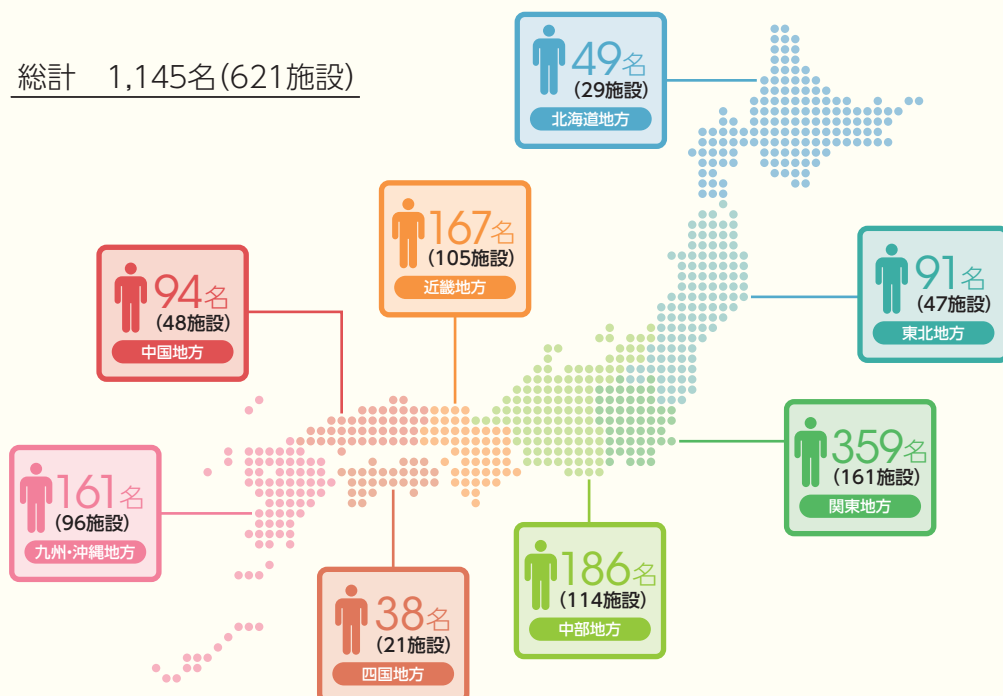
看護師

パワーポイントを共有しながらグループワークするなど、Webでの研修手法を経験できた。

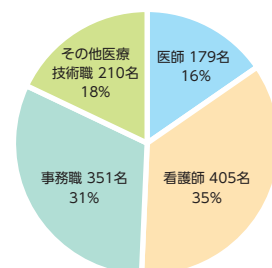
※セミナー後のアンケートより

QM セミナー修了者実績 (2021年3月末時点見込)

総計 1,145名(621施設)



修了者職種別割合

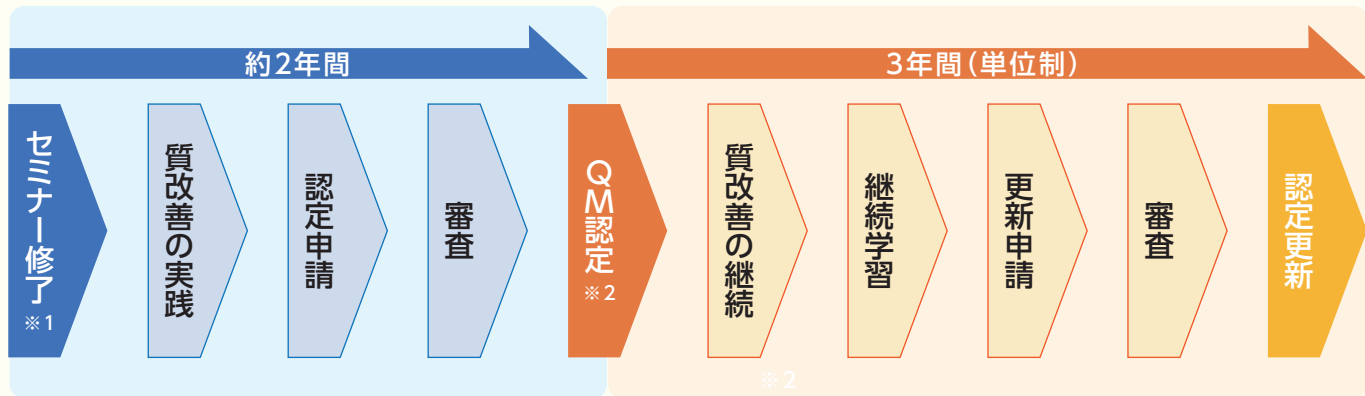


QM 認定・更新制度

目的

医療クオリティ マネジャー養成セミナー修了後に質改善活動に取り組んでいる方を「医療クオリティ マネジャー」と認定します。また、皆様の知識やスキルアップを支援するとともに、医療クオリティ マネジャー同士の交流の場を提供します。ご自身の質改善活動を振り返る機会として、本制度を活用していただければ幸いです。

認定・更新の流れ



※1 医療クオリティ マネジャー養成セミナーを修了した方に「修了証」を発行します。

※2 QM認定を受けた方に「認定証」を発行します。

要件／費用

	認定	更新
要件	1. 質改善の実践	1. 質改善の継続 2. 研修等の受講※1
提出書類	質改善の実践レポート	質改善の実践レポート 受講証明書 等
手数料	無料※2	15,000 円※2 (税込)

※1. QM 継続研修、医療の質改善に関する学会等への参加。

※2. 1 回目の申請費用。再申請を行う場合には追加手数料(10,000 円(税込))がかかります。

認定マーク



QM 継続的な学びの場

医療クオリティ マネジャーとしてより実践的な知識やスキルを継続的に学ぶための場として、実際の医療現場で役立つ様々なテーマの継続研修を開催しています。さらに、医療クオリティ マネジャー間で自身の活動や抱えている課題等を共有(交流)する場を提供しています。

<過去に取り上げた主なテーマ>

- ・データの集計と基礎統計
- ・院内のデータの活用(DPCデータ、看護必要度 等)
- ・対話を通じた人間関係調整(コンフリクト・マネジメント)
- ・病院の財務諸表と経営管理
- ・QM実践事例共有会

…etc

QM 学習支援サイト(eラーニング)

セミナーの効果的な受講と継続的な学習支援のために、eラーニングを活用し、動画配信や継続研修の案内など、病質改善活動の参考になる情報を発信しています。

学習支援サイト

医療の質に関する基礎学習の場

医療の質に関する情報収集の場

医療クオリティ マネジャーの活動・情報共有の場



医療クオリティ マネジャー養成セミナー

セミナー詳細・申し込み方法

病院機能評価事業ホームページ(<https://www.jq-hyouka.jcqhc.or.jp/education/qm/>)より
お申し込みください。

医療クオリティ マネジャー



公益財団法人日本医療機能評価機構 教育研修事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル

TEL: 03-5217-2326 FAX: 03-5217-2331

E-mail: kenshu@jqhc.or.jp HP: <http://www.jcqhc.or.jp/>

2021年3月 改訂